

大分工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	資格英語 I	
科目基礎情報							
科目番号	R02G506			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科目			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	「Step by step prep for the TOEIC L&R TEST」アルク書店、キクタンTOEIC600アルク出版、辞書						
担当教員	朝美 淑子						
到達目標							
(1) TOEICの問題形式に精通する (定期試験) (2) 語彙, 文法に慣れる (定期小テスト) (3) リスニング問題に慣れていく (定期試験) (4) 英語プレゼンテーションをレベルアップして語るようにできる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	出題された問題のすべてを理解し 応用できるようになる			出題された問題の解説を理解でき る		出題された問題の解説を理解でき ない	
評価項目2	決められた英作文に工夫を加え自己 表現できる			決められた英作文について分量内 容共に記述できる		決められた英作文について分量内 容共に記述できない	
評価項目3	リスニングを理解し、自ら使用し 、発展をはかる			リスニング内容を理解できる		リスニング内容を理解できない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育目標 (C2) JABEE 1(2)(f) JABEE 1(2)(g)							
教育方法等							
概要	この科目は主にTOEICを受験する学生を対象にする。単にTOEICのスコアを伸ばすことを目指すのではなく、TOEIC形式の問題演習を通して、英語を聞く力・読む力を総合的に伸ばし、さらに文法の知識を身につけることを主眼に置いている。さらに、自らの意見をきちんと述べることのできる、英語プレゼンテーションの方法論を学び、自ら実践することを目指す。						
授業の進め方・方法	総合評価＝定期試験(70%)＋単語・イディオムテスト(20%)＋英作文(10パーセント) 総合評価60点を合格とし、40点以上の学生に1度のみ再試を行う。						
注意点	日頃から英語に接し、資格試験に挑戦すること。単語イディオムを絶え間なく学び続けること。自ら発信する力を、日本語と同時に英語でもできるよう努めること。						
評価							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業概要説明 オリエンテーション 単語練習 (CHAPTER1)		使用テキストの確認、説明、授業についての説明等 単語の理解・発音		
		2週	UNIT1 単語練習 (CHAPTER1)		UNITについての理解 単語の理解・発音		
		3週	UNIT 2 単語練習 (CHAPTER 1)		UNITについての理解 単語の理解・発音		
		4週	UNIT 3 単語テスト (CHAPTER1)		UNITについての理解 単語の理解・発音		
		5週	UNIT4 単語練習 (CHAPTER2)		UNITについての理解 単語の理解・発音		
		6週	UNIT5 単語練習 (CHAPTER2)		UNITについての理解 単語の理解・発音		
		7週	UNIT6 単語練習 (CHAPTER2)		UNITについての理解 単語の理解・発音		
		8週	単語テスト (CHAPTER2)		UNITについての理解 単語の理解・発音		
	2ndQ	9週	英作文テスト		英作文にチャレンジする		
		10週	英作文テスト振り返り		自分の弱点について知る		
		11週	UNIT7 単語練習 (CHAPTER3) イディオムの理解		UNITについての理解 単語の理解・発音 イディオムを増やす		
		12週	UNIT8 単語練習 (CHAPTER3) イディオムの理解		UNITについての理解 単語の理解・発音 イディオムを増やす		
		13週	UNIT9 単語練習 (CHAPTER3) イディオムの理解		UNITについての理解 単語の理解・発音 イディオムを増やす		
		14週	UNIT10 単語テスト (CHAPTER3) 実践問題		UNITについての理解 単語の理解・発音 前期学習後の力試し		
		15週	前期期末試験				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3	
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	
			公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3	
				自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3	
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	

評価割合

	試験	小テスト	課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	10	0	0	0	100
基礎的能力	70	20	10	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0